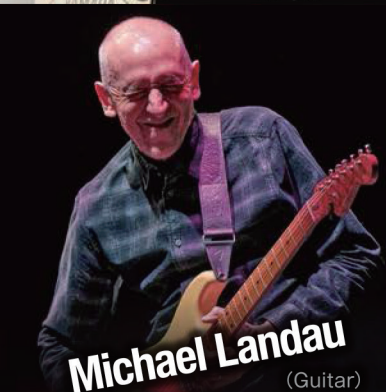


STEVE GADD BAND

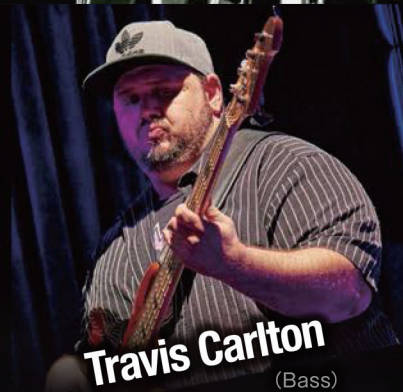
“ドラムの神様”スティーヴ・ガッドが
山形テルサに降臨！



Photo by Bill Zules



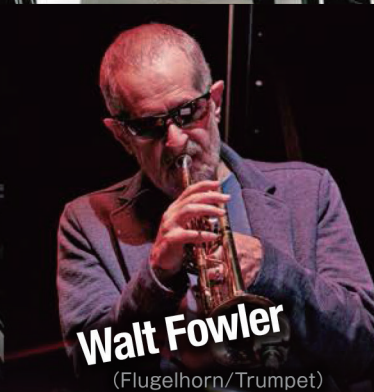
Michael Landau
(Guitar)



Travis Carlton
(Bass)



Jeff Babko
(Keyboards)



Walt Fowler
(Flugelhorn/Trumpet)

2024.1.12 FRI 山形テルサホール

18:00ホワイエオープン／18:30開場／19:00開演 ホワイエオープン時よりドリンクカウンターOPEN
(アルコール・ソフトドリンク) [協力] リッツガーデン

チケット料 [全席指定]	一般券	ペア券
	6,000円	11,000円
メンバーズ会員 賛助会員	5,500円	10,000円

※未就学児のお子さまの同伴・入場はご遠慮ください。なお、当日は2歳から未就学児までのお子様をお預かりする「無料キッズルーム」を開設いたします。ご利用希望の方は、12月28日(木)まで山形テルサにお申し込みください。
※お車でのお越しの際は、近隣の駐車場(有料)をご利用ください。また、混雑が予想されますので、できるだけ公共の交通機関をご利用ください。
※最新情報につきましては、山形テルサのホームページにてご確認ください。

一般発売
11.10
[金]

【チケット販売先】 山形テルサ／富岡本店／JAZZ喫茶OCTET／チケットぴあ<Pコード：256-241>／ローソンチケット<Lコード：22008>

【主催】 山形テルサ指定管理者(一財)山形市都市振興公社 【特別協賛】 遠藤商事株式会社 【企画制作】 Blue Note Japan, Inc. 【後援】 YTS山形テレビ

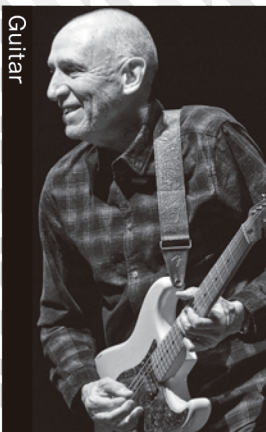
Drums



Steve Gadd スティーヴ・ガッド

完璧なテクニックと唯一無二のグルーヴで、いまなお圧倒的な輝きを放つ“ドラムの神様”。7歳でドラムを始め、'60年代後半からプロ活動を開始した。'73年にはチック・コリア率いるリターン・トゥ・フォーエヴァーに短期間在籍し、以後、スタッフ、ステップス等のジャズ・フュージョン系オールスター・ユニットや、エリック・クラプトン、ジェームス・テイラーのバンド等で活躍。セッション・ミュージシャンとしてもスティーリー・ダン「Aja」、リック・リー・ジョーンズ「Chuck E.'s In Love」、ポール・サイモン「50 Ways to Leave Your Lover」、グローヴァー・ワシントンJr.「Just the Two of Us」など数多くの名曲・名演を支えてきた。自身のユニットには、'80年代後半に活動したザ・ガッド・ギャング、2012年結成のブリッチャー・ヘマー・ガッド、ジェームス・テイラーのバック・メンバーで2013年に結成されたスティーヴ・ガッド・バンド等がある。2018年リリースの『スティーヴ・ガッド・バンド』は第61回グラミー賞ベスト・コンテンポラリー・インストゥルメンタル・アルバムを獲得、2019年のブルーノート東京公演を収めたライブ・アルバム「AT BLUE NOTE TOKYO」も第64回の同賞にノミネートされた。

Michael Landau マイケル・ランドウ



ギターの名器、フェンダー・ストラトキャスターの持ち味を最大限に引き出す達人。19歳でボズ・スキャッグスのツアーに抜擢され、その後、友人のスティーヴ・ルカサーの推薦でセッション・ミュージシャンとしての活動も開始。ジェームス・テイラー、マイケル・ポルトン、ジョニー・ミッチェル、バーブラ・ストライサンド、セリーヌ・ディオン、マライア・キャリー等のレコーディングに参加し、レジーナ・ベルとビーボ・ブライソンが歌った「A Whole New World」でも絶品のギター・プレイを繰り広げた。これまで8点のソロ・アルバムを発表する一方、ロベン・フォードとのツインギター・ユニット「レネゲイド・クリエイション」等でも話題を集めている。

Travis Carlton トラヴィス・カールトン



子供のころからギターに親しみ、13歳の時にベースに転向。ミーターズ、ブーツイー・コリンズ、ハービー・ハンコック、ジミー・スミス、マイルス・デイヴィスらの音楽に熱中し、名門音楽大学「ミュージシャンズ・インスティテュート」ではアーネスト・ティプス（サイモン・フィリップス率いる「プロトコル」の一員）らに師事した。プロ・デビュー以後は、父親のラリー・カールトンを筆頭に、スティーヴ・ルカサー、ロベン・フォード、グレッグ・マティソン、次世代ブルースマンの筆頭格であるジョシュ・スミスらと共演。2003年にはサラ・バレルスのバンドの一員として、マルーン5のオープニング・アクトも務めた。スティーヴ・ガッド・バンドには、ジミー・ジョンソンの後任として参加。

Jeff Babko ジェフ・バブコ



4歳からピアノを始め、マイアミ大学を卒業後、フリオ・イグレシアス、ラリー・カールトン、シェリル・クロウ、ボニー・レイットらと共演し、2000年にはTOTOのサポート・メンバーに抜擢された。また、2002年からはアメリカの人気トーク番組「ジミー・キンメル・ライブ!」の専属バンドのキーボード奏者／アレンジャーとしても活動。2018年から19年にかけてはクリス・シーリー（パンチ・ブラザーズ）がホストを務めるラジオ番組「ライブ・フロム・ヒア」にも登場した。影響を受けた音楽家としてブラッド・スウェット&ティアーズ、クルセイダーズ、デュラン・デュラン、ディーヴォを挙げている。スティーヴ・ガッド・バンドには、ケヴィン・ヘイズの後任として参加。

Walt Fowler ウォルト・ファウラー



19歳からプロのトランペッターとして活動を始め、'74年春にフランク・ザッパ&マザーズへ加入。断続的ながらザッパとは'88年のツアーまで行動を共にした。'75年には兄弟のブルース（トロンボーン）、スティーヴ（サクソフ）、トム（ベース）、エド（ベース）と共にフowler・ブラザーズ・バンド（別名エア・ポケット）を結成。ほか、ジョニー・ギター・ワトソン、ジョージ・ベンソン、ダイアナ・ロス、ジャック・ブルース、アンディ・サマーズ、ジェームス・テイラー等のプロジェクトやツアーに参加し、『バイレーツ・オブ・カリビアン』シリーズなど、ハンス・ジマーが担当した数多くの映画音楽で管弦楽の編曲を手がけている。

人にやさしく、自然を大切に

遠藤商事

代表取締役社長 遠藤 靖彦

本社 / 〒990-8558 山形市穂積 85 TEL:023-631-1331